村山市立小学校西部地区統合準備委員会（第５回）

日時　令和７年５月２８日（水）18：30～
場所　農村環境改善センター　小集会室

議事　次第

１　開　会

２　委嘱状交付

３　委員長あいさつ

４　教育長あいさつ

５　自己紹介

議　事

（１）令和６年度事業報告について【資料１】

（２）令和７年度事業について

①西部地区統合準備委員会設置要綱別表の一部変更について【資料２】

②専門部会作業班について【資料３】

③統合準備委員の所属部会について【資料４】

④西部地区統合準備委員会専門部会スケジュールについて【資料５－１、２】
（部会ごと）

（３）その他

６　閉　会

第５回村山市立小学校西部地区統合準備委員会出席者名簿

□委員　　（順不同・敬称略）

№.	カテゴリー	氏　名	所属団体等	備考
1	地域代表	奥山　陽介	大久保地域代表	
2		石川まゆみ	冨本地域代表	
3		青柳　孝雄	村山戸沢まちづくり協議会長	委員長
4		佐藤　紀彦	大高根地域代表	
5	学校保護者	佐藤　喬一	村山市立大久保小学校PTA会長	副委員長
6		小林　陽介	村山市立冨本小学校保護者	
7		青柳　悠平	村山市立戸沢小学校保護者	
8		井上結香子	村山市立富並小学校保護者	
9		伊藤　真司	村山市立葉山中学校PTA副会長	
10	認定こども園代表	奥野　直樹	村山市はやま認定こども園保護者	
11		黒沼　　梢	認定こども園ふたば大高根保育園保護者代表	
12	小中学校代表	尾﨑　　惣	村山市立大久保小学校長	
13		鈴木　郁子	村山市立冨本小学校長	
14		髙橋　文明	村山市立戸沢小学校長	
15		工藤　美紀	村山市立富並小学校長	
16		早坂　　智	村山市立葉山中学校長	

□事務局（村山市・村山市教育委員会）

№.	所　属	氏　名	兼　務	備考
1	教育長	大内　敏彦		
2	学校教育課　課長	細谷　　充	学校統合推進室　室長	
3	教育指導室　室長	村田　　紳	学校統合推進室　室長補佐	
4	学校教育課　課長補佐	髙橋　留美		
5	庶務主査	秋久保洋紀	学校統合推進室　推進主査	
6	庶務係長	鈴木　夕佳		
7	施設係長	細谷　祐太	学校統合推進室　推進係長	
8	学校統合推進員	井澤　豊隆	学校統合推進室　学校統合推進員	
9	学校統合推進員	笹原　　聡	学校統合推進室　学校統合推進員	

【資料１】

村山市立小学校西部地区統合準備委員会　資料

1　令和６年度事業報告

No.	期日	曜日	事　　業　　名	会　　場
1	7月5日	金	第１回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
2	7月30日	火	総務部会作業班打合せ①	〃
3	〃		学校運営部会作業班打合せ①	〃
4	〃		地域連携部会作業班打合せ①	〃
5	7月31日	水	校舎整備部会作業班打合せ①	村山市役所内
6	8月29日	木	学校運営部会作業班打合せ②	〃
7	9月2日	月	総務部会作業班打合せ②	〃
8	〃		地域連携部会作業班打合せ②	〃
9	9月18日	水	視察研修（大崎市立古川西小学校）	大崎市立古川西小中学校
10	10月4日	金	第２回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
11	11月1日	～	12月27日　西部地区義務教育学校校名募集	（総務部会作業班）
12	11月5日	月	村山市西部地区義務教育学校の校舎施設に係る 助言指導会	村山市立葉山中学校
13	11月12日	火	学校運営部会作業班打合せ③	村山市役所内
14	11月26日	火	スクールウェア展示会見学（教育課程部会作業班）	山形ビッグウイング
15	11月28日	木	第１回学校運営部会	農村環境改善センター
16	12月4日	～	23日　義教校開設・名称募集説明会	市内西部各小中学校
17	12月6日	金	地域とともにある学校づくり研修会参加 (ｺﾐｭﾆﾃｨｽｸｰﾙ研修会)（地域連携部会作業班）	村山総合支庁西庁舎
18	12月11日	水	第１回校舎整備部会	農村環境改善センター
19	12月18日	水	第３回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	〃
20	1月23日	～	2月4日　地区代表説明会	市内西部各市民センター
21	1月28日	火	村山市議会総務文教常任委員会説明	村山市役所内
22	2月5日	水	第１回総務部会	〃
23	2月7日	～	15日　学校保護者説明会	市内西部各小学校
24	2月20日	木	小学校統合計画策定委員説明会	農村環境改善センター
25	2月26日	水	第２回学校運営部会	〃
26	3月6日	木	幼児教育保育施設保護者説明会	はやま認定こども園
27	〃	木	第２回総務部会	戸沢地域市民センター
28	3月11日	火	葉山中学校現地見学会	葉山中学校
29	〃	火	第４回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	〃

2　令和６年度決定事項

No.	項目	内容	部会
1	統合学校名称	校名募集を行い審査した結果「葉山学園」に決定 ※令和7年3月総合教育会議にて承認	総務部会
2	統合校の学年割	４－３－２制とする 1～4年生(前期学年)、5～7年生(中期学年)、8～9年生(後期学年) ※呼び方は仮称　※第3回準備委員会にて承認	教育課程部会
3	コミュニティ スクール	令和8年度より「コミュニティスクール」をスタート することを決定　※第2回準備委員会にて承認	地域連携部会
4	校舎改修設計	増築から改修に変更承認 ※令和7年3月総合教育会議にて承認	校舎整備部会

■西部地区統合準備委員会　令和6年度まとめ

学校教育課
学校統合推進室（内329）

◎これまで、決定した事項（大項目の方針）

№	検討項目	検討内容	今後の進め方	備考
1	統合学校名称	◎公募、児童生徒対象の投票、審査会を経て、義務教育学校の名称は「葉山学園」に決定	総合教育会議を経て、市長了承 ◎今後は、条例整備等を進めるとともに、「学校名称」は、校章・校歌はじめ、すべての基礎・基本となるものであり、広報等で広く周知を図る。	
17	義務教育学校の「学年割」	◎部会・準備委員会全体会等での協議を経て、9年間の学年割を「4－3－2制」とすることに決定	同上 ◎「学年割」は、様々な制度設計の基本になるものである。	
45	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）	◎部会・準備委員会全体会等での協議を経て、令和8年度から「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会設置）をすることに決定	○今後、教育委員会での協議を経て、次回の総合教育会議にて最終決定 ○令和8年度開始に向け、予算化、条例等の整備	
58	校舎改修設計	◎葉山中校舎に、不足する教室を「増築」することから、諸事情により、「改修」の方法により、9年間の義務教育学校を整備することに決定	総合教育会議を経て、市長了承 ○令和7年度に「改修」の内容について「実施設計」を行い、令和8－9年度で「改修工事」を行う計画。	

村山市立小学校西部地区統合準備委員会設置要綱

【資料２】

（目的及び設置）

第１条　村山市立小学校における西部地区小学校の統合について、円滑に行うために必要な準備、検討、調整を図るため、村山市立小学校西部地区統合準備委員会（以下「西部地区準備委員会」または「準備委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　西部地区準備委員会は、次項に定める事項を調査及び検討するものとする。

（1）統合のための基本的事項（学校名称・校章、教育課程、通学方法、PTA 等組織、設備・備品、各種行事・式典等）に関すること。

（2）統合校の開校に向けた準備に関すること。

（3）前号に掲げるもののほか、西部地区準備委員会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

（組織）

第３条　西部地区準備委員会は委員２０人以内で組織し、次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

（1）地域住民を代表する者

（2）児童及び生徒の保護者を代表する者

（3）幼稚園・保育所・こども園を代表する者

（4）村山市立小中学校を代表する者

（5）その他教育委員会が必要と認める者

（任期）

第４条　委員の任期は、委嘱の日から当該年度の最終日までとする。ただし、原則として、本準備委員会の最終的な任期は、小学校統合の目的が達成される日まで続くこととし、継続再任を妨げないものとする。

2　教育委員会は、特定の地域又はその職（以下「地位等」という。）にあたるために委員になった者が、当該地位等に該当しなくなったときは、委員の職を辞職したものとみなし、当該地域等にあたる者を委員として委嘱するものとする。

3 教育委員会は、前項の規定によるもののほか、委員の追加が必要なとき、あるいは委員が欠けたときなど、必要に応じて委員を任命するものとする。

（委員長及び副委員長）

第５条　西部地区準備委員会に委員長及び副委員長１人を置く。

2　委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。

3　委員長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

4　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第６条　西部地区準備委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、議長となる。ただし、第１回目の会議は、教育長が招集する。

2　会議は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
4　会議には、必要に応じて関係者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

（専門部会及び作業班）

第 7 条　委員長は、準備委員会に別表に掲げる専門部会を置き、検討事項について、専門的に調査検討させるものとする。

2　専門的に協議検討するため、第 3 条における委員を、必要に応じ専門部会に所属させることができる。

3　具体的な項目について検討するため、必要に応じ専門部会の補助機関として作業班を置くものとする。作業班の構成員は、原則として、市職員または教育委員会職員、学校の教職員からなるものとする。

（公開）

第 8 条　準備委員会は、原則として公開する。ただし、公開する際の傍聴等に関する規則等は別途定める。

（秘密の保持）

第 9 条　委員は、準備委員会において知り得た個人的な情報等を他に漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

（庶務）

第 10 条　西部地区準備委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

（その他）

第 11 条　この要綱に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附　則

この要綱は、令和 6 年 7 月 5 日から施行する。

別表（第２条、第７条関係）

専門部会	調査･検討事項[i]
総務部会	1　学校の名称等に関すること（学校名称・校章・校歌・制服・体操着等） 2　広報・情報発信に関すること 3　予算、進捗管理に関すること 4　その他総務部会に属する事項
教育課程部会	1　教育課程（カリキュラム）等教育内容の策定等に関すること （校務分掌・日課表・時間割・教材・教具~~・制服・体操着~~等） 2　学校運営方針・教育目標（校訓等含む）に関すること 3　特色ある学校づくり（学校の特徴等）に関すること 4　学校行事、教職員研修・教職員交流に関すること 5　児童会運営、生活指導、健康安全等に関すること 6　児童生徒の交流学習に関すること 7　PTA 組織運営に関すること （組織編成・規約・役員選出方法・運営計画等） 8　その他教育課程部会に属する事項
学校運営部会	1　基本的学校運営に関すること （学校給食、プール~~、備品、学校図書、文書保存・廃棄~~等） 2　通学方法（スクールバス運行）・通学路・安全対策等に関すること 3　学童保育（放課後児童クラブ）に関すること 4　~~児童生徒の交流学習に関すること~~ 5　その他学校運営部会に属する事項
地域連携部会	1　~~PTA 組織運営・~~子ども育成会に関すること （組織編成・規約・役員選出方法・事業等） 2　コミュニティスクール（学校運営協議会）、学校後援会に関すること 3　学校歴史の継承、学校を核とした地域づくりに関すること 4　閉校及び開校記念事業・式典等に関すること 5　現校舎の利活用・学校敷地利用に関すること 6　その他地域連携部会に属する事項
校舎整備部会	1　小学校として必要な教室等の設置~~（増築等含む）~~に関すること 2　学校備品（主に大きな備品）、学校図書、文書保存・廃棄等に関すること 3　その他校舎施設部会に属する事項

※その他　必要事項について、適宜ふさわしい部会において協議するものとする。

【名簿】 専門部会作業班〔東西共通〕 【資料3】

作業班 （＝ワーキンググループ）

	所属部会	所属	役職	氏名	役割
1	総務部会 作業班	統合推進室	推進室長	細谷　充	班　長
		学校教育課	課長補佐	髙橋留美	副班長
		〃	庶務係長	鈴木夕佳	副班長
		統合推進室	推進主査	秋久保洋紀	
		〃	統合推進員	井澤豊隆	
		〃	統合推進員	笹原　聡	
2	教育課程部会 作業班	統合推進室	統合推進員	笹原　聡	班　長
		〃	室長補佐	村田　紳	副班長
		学校教育課	指導主査	森谷洋子	副班長
		葉山中学校	校　長	早坂　智	
		大久保小学校	校　長	尾﨑　惣	
		冨本小学校	校　長	鈴木郁子	
		戸沢小学校	校　長	髙橋文明	
		富並小学校	校　長	工藤美紀	
		学校教育課	学事主査	森　忠昭	
		〃	指導係長	半澤宏樹	
3	学校運営部会 作業班	統合推進室	推進主査	秋久保洋紀	班　長
		学校教育課	学事主査	森　忠昭	副班長
		統合推進室	推進係長	細谷祐太	副班長
		学校教育課	栄養業務員	石山陽子	（給食）
		〃	学事係主事	海老名秀喜	
		統合推進室	統合推進員	井澤豊隆	
		子育て推進課	課長補佐	菅原憲一	

	所属部会	所属	役職	氏名	役割
4	地域連携部会 作業班	統合推進室	統合推進員	井澤豊隆	班　長
		学校教育課	課長補佐	髙橋留美	副班長
		〃	指導係長	半澤宏樹	副班長
		〃	指導主査	森谷洋子	
		統合推進室	統合推進員	笹原　聡	
		生涯学習課	課長補佐	柴﨑　造	
		〃	生涯学習係主事	大山温子	
5	校舎整備部会 作業班	統合推進室	推進係長	細谷祐太	班　長
		〃	推進主査	秋久保洋紀	副班長
		学校教育課	学事係主事	海老名秀喜	副班長
		〃	庶務係長	鈴木夕佳	
		統合推進室	統合推進員	井澤豊隆	

※専門部会ごとに「作業班」を置く。

1）メンバー構成

・基本的に、教育委員会職員、学校教職員とする。

2）班長・副班長

・各班ごとに、班長・副班長を置き、班長が会議等の招集を行う。
　議論の際のリーダーとなる。

・全体（5つの班）の統括は学校教育課長とする。

・協議のとりまとめは、班長と事務局員が行う。

3）作業班の役割

・具体的な項目について調査検討し、一定の結論を得ることを目標とする。（「案A」（作業班原案）を導く）

4）他の課の職員等

・各部会において、必要に応じ関係する課の職員の意見等を聞く必要があるときは、随時、任意で行うものとする。

令和７年度　村山市立小学校西部地区統合準備委員等　名簿　　【資料４】

□委員　　（順不同・敬称略）

No.	カテゴリー	氏　名	所属団体等	所属部会	備考
1	地域代表	奥山　陽介	大久保地域代表	校舎整備	
2		石川まゆみ	冨本地域代表	地域連携	
3		青柳　孝雄	村山戸沢まちづくり協議会長	総　務	委員長
4		佐藤　紀彦	大高根地域代表	校舎整備	
5	学校保護者	佐藤　喬一	村山市立大久保小学校PTA会長	地域連携	副委員長
6		小林　陽介	村山市立冨本小学校保護者	学校運営	
7		青柳　悠平	村山市立戸沢小学校保護者	総　務	
8		井上結香子	村山市立富並小学校保護者	学校運営	
9		伊藤　真司	村山市立葉山中学校PTA副会長	校舎整備	
10	認定こども園代表	奥野　直樹	村山市はやま認定こども園保護者	学校運営	
11		黒沼　　梢	認定こども園ふたば大高根保育園保護者代表	地域連携	
12	小中学校代表	尾﨑　　惣	村山市立大久保小学校長	教育課程	
13		鈴木　郁子	村山市立冨本小学校長	教育課程	
14		髙橋　文明	村山市立戸沢小学校長	教育課程	
15		工藤　美紀	村山市立富並小学校長	教育課程	
16		早坂　　智	村山市立葉山中学校長	教育課程	

□事務局（村山市・村山市教育委員会）

No.	所　属	氏　名	兼　務	主担当部会	備考
1	教育長	大内　敏彦		-	
2	学校教育課　課長	細谷　　充	学校統合推進室　室長	総　務	班　長
3	教育指導室　室長	村田　　紳	学校統合推進室　室長補佐	教育課程	副班長
4	学校教育課　課長補佐	髙橋　留美		総　務	副班長
5	庶務主査	秋久保洋紀	学校統合推進室　推進主査	学校運営	班　長
6	庶務係長	鈴木　夕佳		総　務	副班長
7	栄養業務員	石山　陽子		学校運営	
8	施設係長	細谷　祐太	学校統合推進室　推進係長	校舎整備	班　長
9	学事主査（兼）係長	森　　忠昭		学校運営	副班長
10	主事	海老名秀喜		校舎整備	副班長
11	指導主査（兼）指導主事	森谷　洋子		教育課程	副班長
12	指導係長（兼）指導主事	半澤　宏樹		地域連携	副班長
13	学校統合推進員	井澤　豊隆	学校統合推進室　学校統合推進員	地域連携	班　長
14	学校統合推進員	笹原　　聡	学校統合推進室　学校統合推進員	教育課程	班　長
15	生涯学習課　課長補佐	柴﨑　　造		地域連携	
16	主事	大山　温子		地域連携	
17	子育て支援課　課長補佐	菅原　憲一		学校運営	

※事務局担当者は、記載されている主担当部会の他にも所属している部会があります。

準備委員会のスケジュールについて～会議等開催頻度/イメージ～ 【資料5-1】

R7年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	5/28（水）		下旬		下旬		下旬		下旬		下旬	以後　開校まで継続開催
1準備委員会（全体会議：委員16人）【2か月に1回程度】	第5回 ■		第6回 ■		第7回 ■		第8回 ■		第9回 ■		第10回 ■	2か月に1回程度【但し、必要に応じ随時開催】
2.専門部会（委員3人前後）【必要に応じ随時開催】		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	対面/書面会議
3.作業班（市職員・教職員）【1か月に2回程度】	月2回 ■■	■■	■■	■■	■■	■■	■■	■■	■■	■■	■■	フィードバック 市職員・学校教職員
4.事務局会議（教委）【毎週1回程度】	毎週1回程度 ●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	部会（班）ごとの連絡調整・進捗管理・情報共有化 組織構成

【組織図】本部会議-専門部会-作業班-事務局

- 準備委員会
  - ①総務部会
  - ②教育課程部会
  - ③学校運営部会
    - 分科会（例）学童
  - ④地域連携部会
  - ⑤校舎施設部会

…テーマに相応しい担当課と連携

- 準備委員会（本部会議）
  - 専門部会（作業班）
    - （必要に応じ）分科会を設置

■ 村山市立小学校西部地区統合準備委員会専門部会スケジュール

○：原案作成スタート　　◎：期間を通し、継続的に実施

令和7年5月27日現在

部会	No.	検討項目	担当者	R6	令和7年度（2025）												令和8年度（2026）												令和9年度（2027）												R10	
				3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
総務部会	1	統合学校名称	秋久保洋紀	案決定			○	起案		議決																															開校	
	2	校歌	髙橋留美			○						案決定	予算				詩一般公募					作曲依頼				完成			校歌練習（各校）					校歌練習（全体）								
	3	校章・校旗	髙橋留美			○				案決定	予算			一般公募		審査			決定																							
	4	校訓※	笹原　聡			○	葉連協	視察		葉連協		葉連協		葉連協	案決定			案確認		葉連協		葉連協		葉連協		葉連協	決定		微調整												
	5	制服・体操着	髙橋留美			○	検討委員会							見本展示・ｱﾝｹ								案決定			協定																	
	6	広報・情報発信	井澤豊隆			○	統合通信発行		◎																															終了		
	7	予算管理	鈴木夕佳			◎					新年度予算												新年度予算											新年度予算								
	8	各専門部会の進捗管理	細谷　充			◎																																				
	9	学校文書管理/PCデータ管理等	笹原　聡			◎																																		移動		
	10	その他総務関係	細谷　充																																							
教育課程部会	11	学校経営方針、教育目標	笹原　聡			○	葉連協	視察		葉連協		葉連協		葉連協	案決定			案確認		葉連協		葉連協		葉連協		葉連協	決定		微調整												開校	
	12	校務分掌（教職員組織）	校　長			○																												案決定（最終）								
	13	学校行事（学年行事）	校　長			○																																				
	14	日課表、時間割編成	校　長			○																																				
	15	学習規律	校　長			○																																				
	16	学校史編纂※	校　長			○																																				
	17	義教校の学年割	半澤宏樹	案決定																																						
	18	学校の特徴・校訓等※	笹原　聡			○	葉連協	視察		葉連協		葉連協		葉連協	案決定			案確認		葉連協		葉連協		葉連協		葉連協	決定		微調整												
	19	教職員研修・交流	村田　紳			○																												案決定（最終）								
	20	児童会・生徒会運営	校　長			○																																				
	21	児童会・生徒会組織、校則	校　長			○																																				
	22	生活指導・健康安全	校　長			○																																				
	23	学級編制の基準	校　長			○																																				
	24	教材・教具（必要物品の検討）	校　長			○																																				
	25	学校広報・ホームページ	森　忠昭			○	情報収集																																			
	26	各種委員会・クラブ	半澤宏樹			○	状況整理										方針・組織検討												部会				部会				案決定				
	27	各校資料の活用検討	森　忠昭			○	資料確認																											案決定								
	28	入学説明会・地域説明会	笹原　聡									○						市民説明会			改修内覧会												改修内覧会			保護者説明		完成内覧会		
	29	児童生徒学校間交流	村田　紳		○		葉連協		葉連協		葉連協	案決定	説明会	教課擦合			交流活動												交流活動												
	30	PTA組織・規約	森谷洋子			○	葉連協		葉連協		葉連協		葉連協				保説明会	案作成								案決定															総会開催	
	31	PTA役員選出・運営方法	森谷洋子			○	葉連協		葉連協		葉連協		葉連協				保説明会	案作成								案決定																
	32	PTA事業・予算調整	森谷洋子			○	葉連協		葉連協		葉連協		葉連協				保説明会	案作成								案決定																
	33	その他教育課程関係	笹原　聡																																							
学校運営部会	34	学校給食	秋久保洋紀		○	検討会	部会	検討会	委員会	部会		案決定	予算											予算		基本設計			実施設計					大久保小改修							開校	
	35	プール（水泳授業）	細谷祐太		○											案決定					AP計上			予算								発注	改修工事								
	36	通学路の設定・安全対策	森　忠昭			○															案決定															通学路設定					
	37	通学距離別通学方法	森　忠昭			○															案決定																				
	38	登校班編成	森　忠昭			○															案決定																				
	39	スクールバス運行	海老名秀喜			○					案決定	予算				入札						納車													テスト運行等						
	40	バス乗降所・便数等	海老名秀喜								○				現場確認						現場確認		案決定	予算											テスト運行等					
	41	学童保育（放課後児童クラブ）	子育て(菅原)			○	部会	作業		部会		案決定	子育て課で事業展開																												
	42	その他学校運営部会	秋久保洋紀																																							

■ 村山市立小学校西部地区統合準備委員会専門部会スケジュール

○：原案作成スタート　　◎：期間を通し、継続的に実施

令和7年5月27日現在

部会	No.	検討項目	担当者	R6	令和7年度（2025）												令和8年度（2026）												令和9年度（2027）												R10	
				3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
地域連携部会	43	子ども会育成会組織・規約等	井澤豊隆				育成会				育成会	意見交換					育成会		○							案決定			整理											調整	開校	
	44	育成会役員選出・事業等	半澤宏樹				育成会				育成会	意見交換					育成会		○							案決定			整理											調整		
	45	ｺﾐｭﾆﾃｨｽｸｰﾙ、学校運営協議会の検討	生涯(柴﨑)	○			人選等									案決定	組織化ｽﾀｰﾄ												コミュニティスクール移行への準備													
	46	地域学校協働本部	生涯(大山)			○	人選等									案決定	組織化ｽﾀｰﾄ																									
	47	学校後援会の調整	井澤豊隆			○	状況把握等																																			
	48	学校歴史の継承・地域づくり	半澤宏樹	○	方法・内容検討						案決定	予算																											完成			
	49	学校史（学校記念史）※	井澤豊隆					○			案決定	予算					編纂																							完成	開校	
	50	閉校記念行事・式典	笹原　聡				情報収集			○		情報交換			案決定																									実施		
	51	閉校式・開校式（教委主催）	笹原　聡				情報収集			○		情報交換			案決定																									実施		
	52	大久保小学校の利活用	髙橋留美				確認			○		案決定			総合会議						議会		予算																			
	53	現校舎の利活用	髙橋留美																確認	○		部会		案決定			総合会議						議会		予算							
	54	学校敷地利用の検討	髙橋留美																確認	○		部会		案決定			総合会議						議会		予算							
	55	地域・交流学習（育成会）	生涯(大山)			○																																				
	56	その他地域連携部会	井澤豊隆																																							
校舎整備部会	57	義教校の必要教室の検討	細谷祐太	○		案決定	入札		概算設計				実施設計			引渡																									開校	
	58	校舎改修設計（基本・実施）	細谷祐太		○	案決定	入札		概算設計				実施設計			引渡																										
	59	校舎改修工事	細谷祐太		○			案決定	AP計上			予算					交付金申請		発注		R8改修工事								交付金申請				R9改修工事				引渡					
	60	児童用机・椅子導入	細谷祐太														○				案決定	AP		予算											購入					完了		
	61	大型備品等の検討	細谷祐太		○							導入品選定		購入方法		案決定					AP計上			予算											購入					完了		
	62	備品購入手続き	細谷祐太														○				案決定	AP		予算											購入					完了		
	63	備品リストの整備・整理	鈴木夕佳					○	リスト化								要不要選別		台帳作成																					運搬		
	64	教材備品	海老名秀喜					○	リスト化								要不要選別		台帳作成																					運搬		
	65	不要備品	海老名秀喜																																							○
	66	備品移動・移転計画	鈴木夕佳																○	選定											台帳作成									運搬		
	67	その他事務経理関係	海老名秀喜																																							
	68	その他校舎施設部会	細谷祐太																																							

総務部会

葉山学園制服等分科会（案）

1　目的

義務教育学校葉山学園の制服、運動着、カバン、シューズの制定にあたり、準備委員会の委員、学校教職員及び保護者の代表で構成する制服等検討委員会を設置し、選定方法等に係る具体的な協議、検討を行う。

2　検討事項

・制服の制定
・運動着の制定
・カバンの制定
・シューズの制定

3　検討委員会の構成

NO.	所属団体等	人数	役職等	備考
1	統合準備委員会	２名	総務部会	
2	小・中学校教職員代表	５名	教頭、体育主任（大久保小、冨本小、戸沢小、富並小、葉山中）	教頭または体育主任のいずれか１名
3	保護者代表	５名	母親委員（大久保小、冨本小、戸沢小、富並小、葉山中）	

□事務局（村山市教育委員会）

学校教育課長　　細谷　　充
学校教育課長補佐　　髙橋　留美
学校教育課庶務係長　　鈴木　夕佳

4　今後の予定　（月１回程度の開催を予定）

（１）制服等の基本方針検討
（２）メーカー選定方法の検討
（３）制服等業者の選定
（４）制服デザインの選定

校訓 教育目標 （学校経営方針 学校の特徴）

教育課程部会

◎校訓、教育目標等については、令和７年度２月をめどに（案）を作成する。
令和８年度１年間をかけて、（案）の内容を学校経営の中で確認、決定する。
令和９年度は微調整の１年とする。

＜参考＞ 県内の義務教育学校の教育目標や経営の方針、経営の重点や特色等です。

新庄市立萩野学園　　平成２８年４月開校

○教育目標

９年間の関わりの中で
望を持ち、自らを高め、真摯に、たくましく生きぬく萩野の子どもを育てる

○学校経営の重点

・主体的な学びと家庭学習の充実
・道徳性を高め、いじめの未然防止
・総合的な体力の向上
・特別支援教育の充実と全校児童生徒の心の安定
・校務を精選し、教職員が子どもと向き合う活動の充実

新庄市立明倫学園　　令和３年４月開校

○教育目標

いのち輝き、夢に向かって学び続ける子どもの育成

○めざす学校像　～いのちの尊厳を根底にした学校～

・９年間のかかわりを大切にする学校
・みんなが楽しく学べる学校
・地域とともに育つ学校

○めざす子ども像

・いのちを大切にし、思いやりのある子ども
・夢を持ち、学び続ける子ども
・たくましく挑戦する子ども
・ふるさとを愛する子ども

○特色

地域に根ざした義務教育学校
① 命の尊厳を根底に据えた「こころの教育」の推進
② 地域で支え合う学校づくりと学校運営協議会の導入
③ ふるさと学習の推進
④ キャリア教育の充実

戸沢村立戸沢学園　　令和３年４月開校

〇スローガン

やってみよう　そして学ぼう

〇教育目標

「ふるさとを愛し、共に響き合う　心豊かな児童・生徒の育成」

〇学校像

人と楽しく学び、地域と共に育つ学校

〇めざす子ども像

＜中等部＞　学び合い、共に課題解決する生徒
互いに尊重し合い、心豊かな生徒
困難を乗り越え、逞しく成長し合う生徒

⇧

＜初等部＞　深く考え、共に学び合う子ども
自他を大切にし、心やさしい子ども
たくましく、挑戦する子ども

〇学校経営の基本方針

１　保小中一貫教育の推進による学びと発達が連続する学校づくり
資質・能力を系統立てて育成する学びの充実
縦割り活動や異学年交流の充実
保小交流の促進

２　特別支援教育を基盤としたひとりひとりを大切にする学校づくり
９年間を見通した計画的で継続的な指導
普通学級における特別な支援の充実

３　積極的な生徒指導の推進による安全・安心な学校づくり

４　地域と共に教育活動を展開し、開かれた学校づくり

朝日町立あさひ未来学園　　令和１１年４月開校予定

〇学校コンセプト

「朝日ではじまる『きょういく』と未来へつながる『また明日』」

このコンセプトの目指すところは“明日も行きたい学校”

・朝日ではじまる「きょういく」

朝の光とともに「今日行く」という子どもたちの心を表現

誰一人取り残さない教育を実現する「今日行く」場所であることを目指す

・未来につながる「また明日」

子どもたちが学びを楽しみ、友だちや地域の方々と「また明日」と交わす姿

学びを楽しむ子どもたちは、自ら未来を切り拓いて、たくましく生きることができると確信

飯豊町立いいでの森学園　　令和８年４月開校予定

〇校是

日々明朗　日々努力

〇めざす学校像

未来を拓き、町と伸びゆく　いいでの森学園

〇めざす子ども像

※校長が経営方針に絡めて設定する

〇めざす教師像

使命感をもって、高め合い、子どもとともにある教師

〇学校教育目標

１．自ら考え、判断、表現し、主体的に学ぶ力を身につけた子ども

２．たくましい心と社会性を身につけた心豊かな子ども

３．「いのち」を大切にし、自ら体力を高め、健やかな体をもつ子ども

４．「グローカル」の視点をもち、飯豊を愛し、地域に貢献する子ども

＊グローカル：グローバル（地球規模の）とローカル（地域的な）を合わせた造語。

地域性を考慮しながら、地球規模の視点で考え、行動すること。

学校統合準備委員会　教育課程部会(葉山学園)

〇「児童生徒間交流」について

令和10年度開校の葉山学園において、児童生徒が円滑に接続できるよう葉山中学校区で教育課程の工夫を行う。

開校時の現在の学年

	現行学年			
葉山学園	R10	R9	R8	R7
9年生	小6			
8年生	小5			
7年生	小4			
6年生	小3			小6
5年生	小2			小5
4年生	小1			小4
3年生	年長			小3
2年生	年中			小2
1年生	年少			小1

◇　教育課程について

1　現在の交流の確認

小小交流、小中交流

2　R7年度中の交流の検討

今後入れ込めるものはあるか否か

3　R8年度の交流についての検討

（1）日常交流（期間）

（2）行事の交流

①修学旅行

②宿泊学習

令和７年度　学校行事

	楯岡小	西郷小	袖崎小	大久保小	冨本小	戸沢小	富並小	楯岡中	葉山中
1年遠足等 期日・目的地等					9/19 校外学習 低学年 東根方面	4/28 遠足 1・2年			7/1 ふるさと 体験
2年遠足等 期日・目的地等									7/1～2 職場体験
3年遠足等 期日・目的地等				5/27 市内巡り		6/18 遠足			4/23～25 東京方面
4年遠足等 期日・目的地等				6/6 校外学習		6/26 校外学習			
5年宿泊学習 期日・目的地等				6/10~11 朝少		7/10～11 朝少	7/1～2 朝少 5・6年生		
6年修学旅行 期日・目的地等				10/23~24 6年生	6/19～20 5・6年生	6/19～20 6年生			

令和８年度　学校行事

	楯岡小	西郷小	袖崎小	大久保小	冨本小	戸沢小	富並小	楯岡中	葉山中
1年遠足等 期日・目的地等				4年生の社会科見学や3年生の市内巡りなど社会科に関連する校外学習については、合同でできる可能性も。					ふるさと体験 （現小6）
2年遠足等 期日・目的地等						中学生とリンクできる活動はないか。			キャリアW 職場体験 （現中1）
3年遠足等 期日・目的地等						R8の葉山中１年生は、葉山学園の9年生になる。統合を見据えた交流はできないか。			修学旅行 東京方面 （現中2）
4年遠足等 期日・目的地等									
5年宿泊学習 期日・目的地等				5年生 （現4年）	5・6年生 （現4・5年）	5年生 （現4年）	5年生 （現4年）		
6年修学旅行 期日・目的地等				6年生 （現5年）		6年生 （現5年）	6年生 （現5年）		

令和9年度　学校行事

	楯岡小	西郷小	袖崎小	大久保小	冨本小	戸沢小	富並小	楯岡中	葉山中
1年遠足等 期日・目的地等				4年生の社会科見学や3年生の市内巡りなど社会科に関連する校外学習については、合同でできる可能性も。					ふるさと体験 （現小5）
2年遠足等 期日・目的地等						中学生とリンクできる活動はないか。			キャリアW 職場体験 （現小6）
3年遠足等 期日・目的地等						R8の葉山中１年生は、葉山学園の9年生になる。統合を見据えた交流はできないか。			修学旅行 東京方面 （現中1）
4年遠足等 期日・目的地等									
5年宿泊学習 期日・目的地等				5年生 （現3年）	5年生 （現3年）	5年生 （現3年）	5年生 （現3年）		
6年修学旅行 期日・目的地等				6年生 （現4年）	6年生 （現4年）	6年生 （現4年）	6年生 （現4年）		

○　R8年度　冨本小の6年生（現5年生）は修学旅行をR7に経験済み。
○　R8年度　富並小の5・6年生は宿泊学習、修学旅行ともに初めてなので、分けることは可能。

○　R8年度の合同行事をどの範囲で行うか、検討が必要。パターンは複数考えられる。
例えば、青枠6年生、戸沢小と富並小は方面、修学場所、交通手段もほぼ同様である。
大久保小学校も東京方面ということで修学内容を整合できれば、合同で行うことも可能。

○　行事以外での日常交流を検討する。（小小交流、小中交流）

○　令和9年度は統合を見据えて、５年宿泊学習、６年修学旅行は合同で行えるようにしたい。（案）
懸案事項
（１）方面、修学内容の整合
（２）各行事の費用の確認と該当学年の保護者の了承
（３）統合後の宿泊学習、修学り旅行の該当学年
例：前期ステージ（１～４年）　４年生時に宿泊学習
中期ステージ（５～７年）　7年生時に修学旅行
後期ステージ（8，9年）　9年生時に修学旅行

例のように行事を編成すると令和10年度に限っては、7年生が2年連続の修学旅行になるため、事前に2回行えるのか、統合過渡期ということでいかないことも検討が必要。

同様にステージで宿泊学習を行うと、5年生（現2年生）が宿泊学年の空白になるため、令和10年度は統合過渡期として、5年生も宿泊学習を組む検討が必要。

学校運営部会

１ 学校給食について

（経過）

大久保小調理室を改修し葉山学園へ運搬する準自校方式や、市内全域をカバーできる同校調理室のセンター化などの意見がでた。市で一つのセンターを考える際には東部地区との調整も欠かせず、市全体のビジョンを考える必要がある。他にも給食無償化や公会計化、地産地消や食育など様々な視点で検討する必要があることから、今後検討委員会などを立ち上げて議論していくこととした。

（今後）

５月９日に市関係各課にて庁内検討委員会を開催。各課より意見交換を行い情報共有し、準備委員会へ提示できるよう随時、継続して開催していくこととした。

市のビジョンや作業班、専門部会、準備委員会にて今後協議し案を決定することになるが、現段階では大久保小を改修すると仮定し、新年度予算要求の始まる 11 月に案決定、令和 8 年度に基本設計、令和 9 年度に実施設計を経て改修完了を目標としたい。

２ プール（水泳事業）について

（経過）

葉山学園の水泳事業を考慮した場合、新設では多額の初期費用と敷地内に十分な余裕がないことから、若干の改修を要するが比較的新しい大久保小のプールを活用することで第 3 回準備委員会にて承認。

（今後）

管理者の問題や日除けや床面など必要とする改修について精査し、案を決定して令和 8 年度予算要求、令和 9 年度改修着工、完成としたい。

３ 通学路、スクールバス関係について

（経過）

スクールバスの運行において、通学距離の基準、バスの大きさ、運営形態などについて国・県の見解、他市事例等を参考として素案を作成。通学距離 2 ㎞基準の柔軟な対応、小学 1 年生等の低学年に対する配慮、体力低下の危

惧、バスのデザインなど検討すべき項目があり、安全な登校に重点を置き検討していく。

（今後）

スクールバスの台数増については、納期の関係もあるため早めに検討し10 月には案を決定し令和 8 年度中の納車としたい。その他、バス乗降所の現場確認や通学路の安全対策については、令和 8 年度中に詳細を詰め案を決定し、令和 9 年度に整備することを目標とする。

４ 学童保育（放課後児童クラブ）について

（経過）

当初の想定では、葉山学園内にクラブを設ける予定だったが、改築に変更となり方向性の見直しが必要となった。市内の学童は、NPO、地区、幼稚園の 3 種類の運営母体があるが、統合の状況や統合アンケート結果を踏まえ一つとする案がある。今後、学童の市連絡協議会と協議していく。

（今後）

作業部会、専門部会とも協議し、施設改修の可能性を踏まえ 11 月には案を決定したい。また、学童主管課である子育て支援課と検討していく。

■地域連携部会　令和6年度まとめ

学校教育課
学校統合推進室（内329）

№	検討項目	検討内容	今後の進め方	備考
43	子ども会育成会組織・規約等	未着手	・(案)を作成の上、育成会と協議を進める	
44	育成会役員選出・事業等	未着手	・同上	
45 46	コミュニティスクール (学校運営協議会)の設置検討	◎令和8年度に、全校で学校運営協議会を設置できるように進める。	①(教委)スキーム(計画・手順)を立案・予算化 ②(学校)令和7年度内に、各校4－5名程度の協議会のメンバーの人選を行う ③(研修)コミュニティスクールへの理解を深める	
47	学校後援会の調整	未着手	・後援会組織の調査・方向性の検討	
48	学校歴史の継承・地域づくり	未着手	・統合後の地域の在り方について、地域との話し合いを行うなど、統合後の地域振興についての検討を開始する。	
49	学校史(学校記念誌)	未着手	・第2部会と連携し、学校と地域とが連携し、今後の進め方・方向性を決めていくようにする。	
50 51	閉校(開校)記念行事・式典	未着手	・他自治体の事例等の研究 ・(案)の検討	
52	大久保小学校の利活用	◎複数の活用案をもとに検討中 （給食施設・プール・市民センター等）	◎「給食施設」「プール」等具体案をもとに、活用案を本格化	
53	現校舎の利活用	○地域でも考えてもらえるよう、4地域のまち協、保護者向け説明会開催	○各地域での検討状況等を聞き取り/地域の意向の再確認/勉強会等	
54	学校敷地利用の検討	○同上	○同上	
55	地域・交流学習	未着手	・第2部会「教育課程部会」と連携し、地域住民側の意識の醸成(地域振興と学校への関わり方)	
56	その他地域連携部会			

訂正版

CSの可能性を

みんなで考えてみませんか？

第１回　地域とともにある学校づくり研修会

コミュニティ・スクール

CSとともに歩む 地域と学校の未来

日時　令和7年6月6日（金）14:00～16:40

受付　13:30～

会場　甑葉プラザ　甑葉ホール

（〒995-0034　山形県村山市楯岡五日町14番20号）

対象

◇管内小中学校教職員
◇村山管内に所在する公立高等学校、公立特別支援学校の教職員
◇社会教育主事有資格教員、社会教育士
◇教育委員会学校教育主管課、社会教育主管課職員
◇地域学校協働活動関係者　等

内容

研修①

教えます！　ＣＳの仕組み　ＣＳのメリット
ＣＳに詳しい方も、
学び直ししてみませんか？

講話
『CSとともに歩む　地域と学校の未来』

講師　国立教育政策研究所
生涯学習政策研究部
総括研究官
志々田　まなみ　氏

研修②

ワークショップ
『ワクワクチャレンジ！　自分たちができそうなこと』

◇詳細につきましては、別紙「実施要項」を御覧ください。

◇申込みの際は、二次元コードより申込みフォームにお入りいただくか、メールで下記①～④を入力し、村山教育事務所（小関）まで、お送りください。

①氏名　②メールアドレス
③所属・役職　④電話番号

申込期間

5月9日(金)午前9時～
5月23日(金)午後5時

問合せ

村山教育事務所　指　導　課　担当：佐藤　梢江（さとう　こずえ）
社会教育課　担当：小関　直幸（こせき　なおゆき）
TEL：0237-86-8166（指導課）　FAX：0237-86-8263
8274（社会教育課）
E-mail：kosekinao@pref.yamagata.jp（担当：小関）

【主　催】山形県教育委員会　【主　管】村山教育事務所　【共催】村山市教育委員会

令和７年度　山形県学校・家庭・地域連携協働推進事業

令和７年度　第１回地域とともにある学校づくり研修会　実施要項

村山教育事務所　社会教育課・指導課

１　ね ら い

・学校と地域が目標を共有し、一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」の実現に向けた具体的な取組であるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動についての理解を深める。

・学校や地域の実情に応じた取組を共有し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた、今後の具体的実践につなげる。

２　主　　催　　山形県教育委員会　（主管　村山教育事務所）

３　日　　時　　令和７年６月 ６日（金）14:00～16:40（受付 13:30）

４　会　　場　　甑葉プラザ　甑葉ホール

（〒995-0034　山形県村山市楯岡五日町 14 番 20 号）

５　対　　象　　・管内小・中学校の教職員

・村山管内に所在する公立高等学校、公立特別支援学校の教職員

・社会教育主事有資格教員、社会教育士

・管内各市町教育委員会学校教育主管課・社会教育主管課職員

・地域学校協働活動関係者　等

６　内容及び次第

研 修 ①　　14:10～15:40

講話　『ＣＳとともに歩む　地域と学校の未来』

講師　志々田　まなみ　氏

国立教育政策研究所　生涯学習政策研究部　総括研究官

研 修 ②　　15:50～16:30

ワークショップ　『ワクワクチャレンジ！　自分たちができそうなこと』

７　日　　程

13:30　14:00　14:10　15:40　15:50　16:30　16:40

受付	開会行事	研修①	休憩	研修②	閉会行事

８　申込方法

スマートフォン等で右の二次元コードを読み取ると申込みフォームに移動します。必要事項を入力のうえ送信ください。

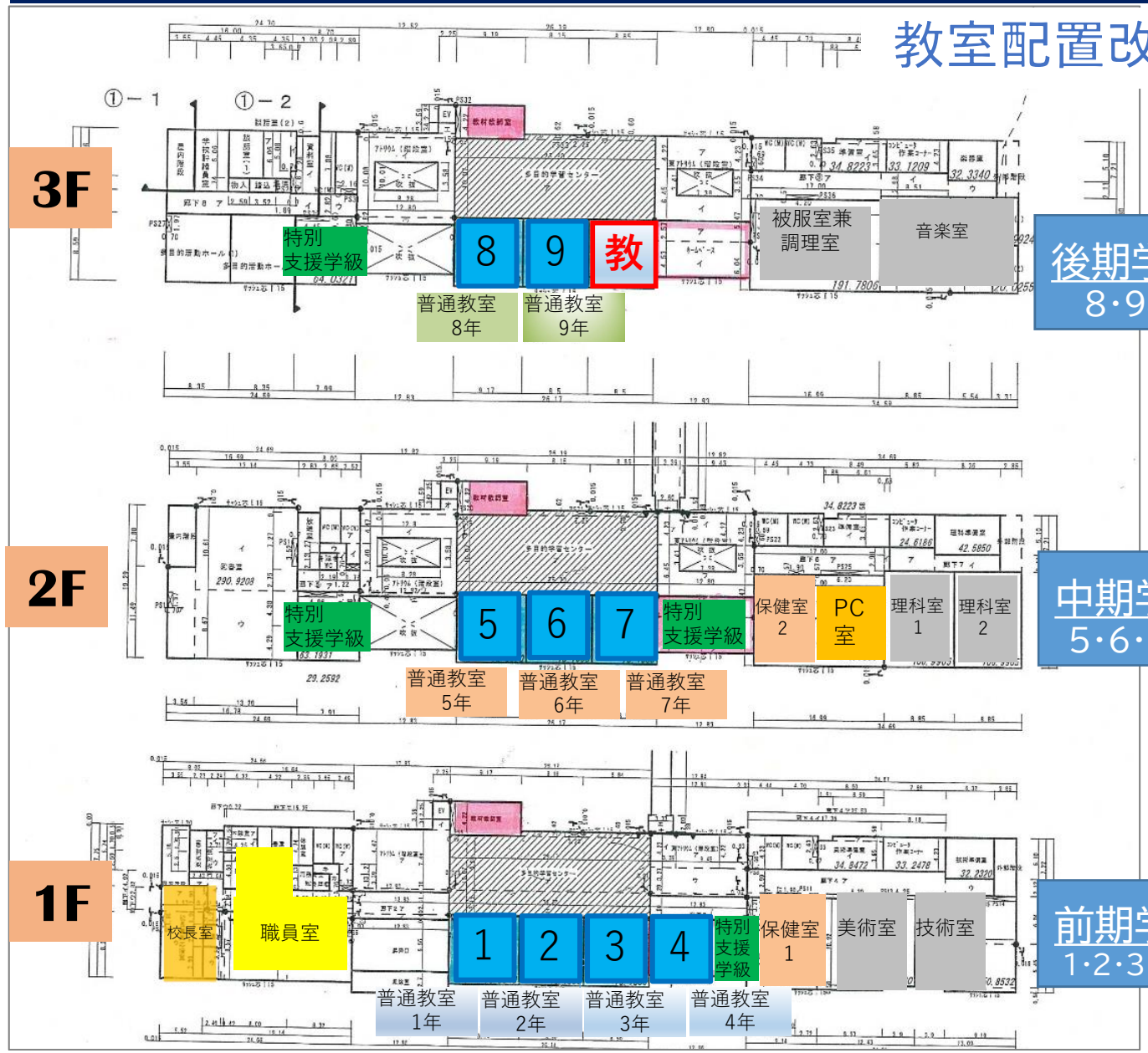
申込期間：5月9日(金)　午前９時　～　５月23日(金)　午後５時

【志々田　まなみ　氏プロフィール】

広島大学大学院教育学研究科修了後、広島経済大学教授を経て、2017 年４月より現職。専門分野は社会教育学、生涯学習論。特に、学校・家庭・地域の連携・協働に関心をもち、地域学校協働活動やコミュニティ・スクールに関する全国調査を実施してきた。共著書として「地域学校協働活動のデザインとマネジメント～コミュニティ・スクールと地域学校協働本部による学び合い・育ち合い」(学文社・2021)等がある。

【校舎整備部会】　教室配置改修（案）及び設計発注スケジュールについて

教室配置改修（案）



後期学年
8･9年

●普通教室
3 ⇒②教室へ
（１教室教科教室）

中期学年
5･6･7年

●普通教室
3 ⇒③教室
（教室同数）

前期学年
1･2･3･4年

●普通教室
3 ⇒④教室へ
（1教室追加）
ホームベースを改修
〈普通・特別支援教室に〉

その他

- 屋根外壁の改修
- トイレの改修
- メモリアルコーナーの設置
- 床、壁、天井の改修
- 階段の転落防止対策等の安全対策
- 部活動地域移行に向けた区画
- 屋外環境整備
- スクールバス車庫の増設

など

設計発注スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入札、業者決定	●									
概要設計		→	→	→	→					
工事費概算				→	→	→				
設計図面作成					→	→	→	→	→	
設計内訳作成							→	→	→	
完了検査										●
準備委員会		●		●		●		●		●

入札により設計者を決め、みなさんの意見を反映しながら進めていきたいと思っています。